

大分教育事務所訪問②-25 (計 98)

# 臼杵市立川登小学校に学ぶ2

## 学校経営から学ぶ

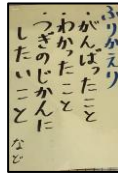
学校の教育目標を達成するために、「学校評価の4点セット」のそれぞれの取組について教職員等の実施率と取組状況、子どもの達成状況と検証、改善策が明確に示されており、実効性のある検証・改善サイクルとなっています。

注目すべきは、学校として育成を目指す資質・能力を「表現力」と絞り込み、さらに、「表現力=自分の考えを相手や目的に応じて表現する力」と学校で定義をしていることです。このことで、日常の授業や学校生活において、教職員が常に意識をされながら実践を行うことにつながり、学校の教育目標の達成に近づくことになります。

今後は、教職員だけでなく子ども達も、それぞれ「表現力」について語ることができると、より目標が共有され、当事者意識が高まると思われました。また、そのような「表現力」について、保護者や地域の方とも熟議等を行うことで、より協働的な取組が行われると思えます。

## 授業から学ぶ

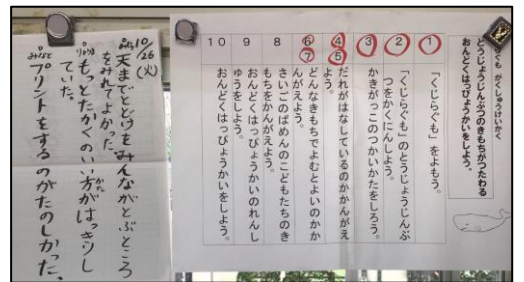
本校における「表現力」の定義ができたことで、全ての授業において自分の考えを相手や目的に応じて表現することを意識した実践が行われていると感じました。特に、低学年の子どもの聞く姿勢や、中学年の学び合う姿、高学年の自己表現のレベルの高さを感じました。今後は、「聞き方名人」「話し方名人」等を子どもと共に作り、改善されてみてはいかがでしょうか。また、指導案の「めあて」については、本時で目指す「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」となることを、互見授業等で協議することで授業改善がより推進されると思われました。



NO.436 2021年10月 臼杵市立川登小学校

# 表現力

最初から上手くはいかない。  
繰り返すことで、自分の思いを表現することができる。だから、失敗はない。全て経験。



NO.435 2021年10月 臼杵市立川登小学校

# 想像力

歴史の資料を隅々まで見ていると、どんな時代だったのか想像することが楽しくなる。



NO.434 2021年10月 臼杵市立川登小学校

# 優しい空間

発言者の方を向くのは、ルールだからではない。頑張る友達への応援や賛同からだよね。



NO.433 2021年10月 臼杵市立川登小学校

# 視線で語る

視線がそろろうと、言葉以上に相手の思いが伝わってくる。